

## あきのやさいをそだてよう ～そだてて、しらべて、たべたいな～

### 《単元のポイント》

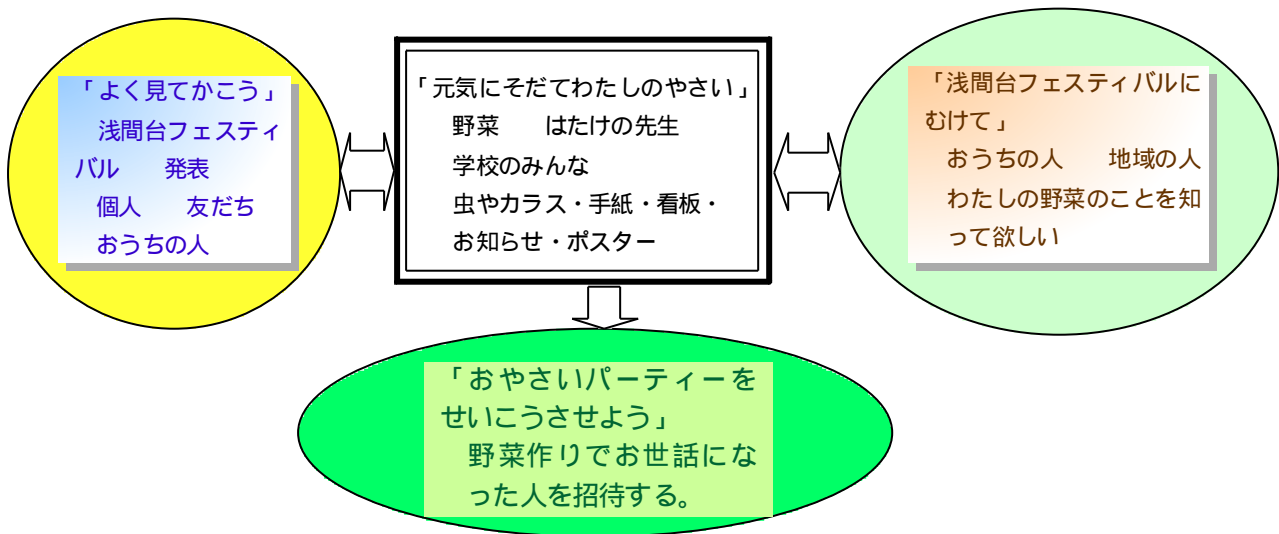
本単元は、夏野菜を育てた経験をもとにした単元である。

夏野菜が思っていた以上に収穫できた喜びと家族に食べてもらった満足感、達成感を再び味わいたいという思いと「また、芽が出ないといやだな。」など不安の入り交じった心情からスタートした。学習を進めていく中で、「もっと野菜のことを知りたい。」「もっといっぱい収穫するにはどうしたらいいのかな。」という科学的な視点も生まれてきた。単元全体を通して、友達と協力して世話を続けたり、よりよい方法を話し合ったり、教えあったりすることを大切にして指導を行った。

### 《授業改善に向けての考察》

#### 相手を意識して・・・

本単元では、相手や場、目的や手段を意識するように学習を進めていった。



相手を意識したり、発表する場や目的を意識したりすることで、表現や発表に取り組む姿勢や意欲が高くなる。

#### 意欲を継続することの難しさ・・・

単元全体が長時間かけての活動であること、活動が多岐にわたることなどのため、児童の活動を把握し、気持ちを野菜に向け続けられるような手だてを教師がしっかりととまなければならないと痛感した。

#### 野菜を育てることを通して・・・

野菜＝物言わぬ生き物を育てていくことは、自然への感性を育てていく一歩となる。一所懸命世話を続ければ、たくさんの実りを与えてくれる。また、その逆もある。かと思うと、どんなに世話をしてもその方法が間違っていたり、天候など不可抗力な事情で、実りを得られないこともある。そんな自然を相手に思考錯誤したり、葛藤やジレンマを繰り返して、体で考えていくことができる。成功や失敗を糧に、夏野菜・秋冬野菜とチャレンジできるのもよいと思う。

野菜を育てるだけでなく、友達や地域の人とのかかわりがもてたり、学校行事への発展ができたりと、幅広い活動が期待できる単元であると思う。